

第 39 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会 大会要項

Ver. **20240417**

主催協賛	日本学生自転車競技連盟 公益財団法人日本自転車競技連盟 公益財団法人 J K A 井上ゴム工業株式会社 株式会社JPF	長野県自転車競技連盟 公益社団法人全国競輪施行者協議会 株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO. LTD. (WIAWIS) やぶはら高原イベント実行委員会 (予定)
後援協力	木祖村 木祖村観光協会 独立行政法人水資源機構味噌川ダム管理所 ブリヂストンサイクル株式会社	木曽広域消防本部 井上ゴム工業株式会社 (予定)
期日	2024年6月13日(木) チーム監督/代表者Zoom会議 20時より 2024年6月15日(土) 女子受付・ゼッケン配布 12時00分 女子競技開始 13時00分 男子受付・ゼッケン配布 14時30分~15時00分 2024年6月16日(日) 当日の男子受付・ゼッケン配布はなし 男子競技開始 8時00分	
会場	長野県木曽郡木祖村 奥木曽湖周回コース1周 9.0kmサーキット (フィニッシュは+1km、柳沢尾根公園頂上) URL: http://www.water.go.jp/chubu/misogawa/	
大会主旨	本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)に登録した選手によるロード種目の優勝者を決める大会とする。	
競技種目	個人ロードレース 男子 154km (9km×17周+1km) 女子 91km (9km×10周+1km)	
参加資格	<ol style="list-style-type: none">会場入場者全員別途コミュニケーション等により発表する感染対策等の指針と現場における指示に従うこと。出場選手<ul style="list-style-type: none">受講実績として有効な期間内の座学講習会、実地研修会を事前に少なくともそれぞれ1回ずつ以上受講済であること。当該年度に有効な、(公財)日本自転車競技連盟(以下、「JCF」という)登録競技者のうち、本連盟加盟校の登録選手であること。男子選手<ul style="list-style-type: none">男子はロードカテゴリ・クラス1および2の競技者で最大150名とし、参加申込者数が150名を超えた場合、下記の順で参加者を選出する。当日不出走の選手がいても繰上げは行わない。<ol style="list-style-type: none">本年度のロード選手権ランキング前年度のロード選手権ランキング本年度ロードカテゴリ・クラス1の者本年度ロードカテゴリ・クラス2要件③(新一年生)該当者本年度ロードカテゴリ・クラス2の者、本年度RCSランキング保持者、定員を超える場合はランキング順とするが、本年度RCSランキングが同点の場合、セフティーライド座学講習会、実地研修会を受講した回数も選考の対象とする。上記にて定員に達しない場合、本年度ロード・クラス2の者の前年度RCSランキング順女子選手<ul style="list-style-type: none">前項の規定にかかわらず、女子については本連盟が認めたJCF登録選手のオープン参加を認める。女子については出走者数等の制限は特になし。チームスタッフ<ul style="list-style-type: none">JCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。ただしチーム監督/代表者は競技者ライセンスのみの保有者は務めることは許容されず、コーチ、チームアテンダント、審判のいずれかのライセンスを所持している必要がある。チーム監督/代表者は、別途コミュニケーション等により発表する所定の座学講習会を事前に受講済であること。緊急時搬送同行・送迎要員<ul style="list-style-type: none">大会中に選手を医療機関等に搬送する必要がある場合、チームの責任において搬送すること。救急車を要請した場合、同乗者はチームの責任において選任すること。緊急時搬送同行・送迎要員は、必ずしも競技ライセンスを必要としない。また、チーム監督/代表者、コーチ等が兼任してもよいが、競技中であっても救護活動を優先すること。エントリー用紙に緊急時搬送同行・送迎要員としての氏名の登録を必須とする。供出役員<ul style="list-style-type: none">本大会の参加各校については、男子エントリー選手数に応じて、2024年6月16日(日)のみ以下の通り役員を供出することを参加条件とする。供出役員はJCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。(競技者ライセンスでも可)但し、2名以上の場合、1名以上は審判ライセンス保持者とする。審判ライセンス保持者がいない場合はもう1名追加すること。Aゾーン: 長野・新潟・東京・神奈川・山梨・埼玉・千葉・茨城・群馬・栃木県が登録地であるチーム エントリー6~9名の場合に1名、10名以上は2名Bゾーン: Aゾーン以外の本州内のチームは、エントリー10名以上は1名Cゾーン: 本州以外のチーム: 供出義務は課さない(供出は歓迎します)本大会のエントリー用紙に供出予定役員の氏名・ライセンス番号等の必要事項を記入すること。	

- ・ 供出役員については昼食を支給する（但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない）。
- 8. 供出役員の変更
 - ・ エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。
 - ・ 当日エントリー選手数が減少した場合でも、供出役員の人数は減らすことはできない。また、供出役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には代わりの者を出すこと。代わりの者を出せない場合は、**実際に参加可能な供出役員数に対応する選手数に出走者数が限定される。もしくは該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科す。**
 - ・ 感染症などにより一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。

参加申込

1. エントリー申込
 - ・ 所定の様式（エクセル）でエントリー専用電子メールアドレス宛てに本連盟事務局まで申し込むこと。2023jicf.championship@gmail.com エクセル様式申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。エクセル様式の到着を以て参加申込の正式受領とするが、相当するエントリー概要内容をGoogleフォームにて期限内に送付する事。<https://forms.gle/rVRSQG4j68pY5tpv6>
 - ・ 本連盟ウェブサイトにエントリー受信者リストを公表するので、各自確認のこと。
 - ・ 大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。
2. 男子参加申込可能者
 - ・ 男子参加申込者数が150名を超えた場合には、上記の参加資格3.の方法により選出を行い、本連盟HP上に150名の参加申込可能者のリストを掲載する。参加申込可能者は本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、本エントリー手続きが完了する。
 - ・ なお、150名の参加申込可能者のリストが掲載されるか、または申込者全員が参加申込可能者である旨の発表があるまで参加料を振り込んでではない。振込期限はその発表の際に指定する。尚、男子の参加申込可能者のリストがHPに掲載される前に振り込みを行ったチーム（個人も含む）については、150名以内の選考に漏れた者がいた場合、その選手の参加料は返却しない。
3. 参加料
 - ・ 男女とも本連盟加盟校登録選手は1名8,000円とし、オープン参加者は1名につき10,000円とする。
4. 申込期限および参加料納入期限
 - ・ 女子はエントリー用紙及び参加料とも5月14日（火）17時必着とする。
 - ・ 男子はエントリー用紙のみ5月14日（火）17時必着で上記エントリー専用電子メールアドレスへ送付すること。なお、男子のエントリーについては、上記の締切日以後のエントリー用紙提出はいかなる理由があろうとも、一切認めない。
5. 参加料振込先
 - ・ 長野県労働金庫（ろうきん）諏訪湖支店普通 9686208 口座名義 日本学生自転車競技連盟送金名義人について、振込元に大会コード **0615** と、XXダイガク等、必ずチーム名を記入すること。銀行振込以外の支払方法は認めない。大会毎に送金口座が異なるので注意すること。
6. 返金
 - ・ 一旦入金された参加料は**原則として返金しない。**但し、本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金するので、返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。
 - ・ **当日の体調不良により**参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
7. 欠場
 - ・ 本大会における欠場については理由を問わず（怪我等の正当事由がない場合でも）ペナルティを科さないこととする。ただし、受付開始時刻以前に事務局まで電子メール（jicf@remus.dti.ne.jp）および電話（学連携帯090-2207-2369）で欠場の連絡をすること。
8. 誓約
 - ・ 申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

会場入場

1. チームスタッフの登録
 - ・ 選手数+1名を上限（選手1名ならば、2名まで）としてチームスタッフの登録を行うことができる。
 - ・ 監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。
 - ・ 選手以外のチームスタッフ全員の氏名をエントリー用紙に記入すること。
2. 登録スタッフの変更
 - ・ エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。
3. メディア関係者
 - ・ 大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。

選手受付

1. ライセンスコントロール
 - ・ ライセンスコントロールは事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。別途コミニケ発表の受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取る。欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで

- 申し出ること。
2. バイクチェック
 - ・参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションを受けて出走サインを済ませること。
 - ・レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。
 3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

賞典・式典

1. 開会式・閉会式については別途発表するコミュニケにて詳細をご確認ください。表彰式は第3位以上のみ競技終了後、準備が整い次第フィニッシュライン付近にて行う。
2. 男子は、優勝者にチャンピオン・ジャージ、賞品、賞状を授与し、2・3位には賞品、賞状を、4位から10位までには賞状を授与する。
3. 本連盟登録女子選手は、オープン参加選手を除いた順位で、優勝者にチャンピオン・ジャージを授与し、第3位以内に賞品、賞状を授与する。
4. 女子のオープン参加選手はオープン参加者のみの順位で、優勝者に賞品を授与し、第3位以内に賞状を授与する。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について参加者は自ら責任を負う。
2. 主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応のこと。
3. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入のこと。
4. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。
5. 主催者において加入している傷害保険は、死亡1000万円、入院・通院保障なしである。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

競技規則

JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

司法管轄

本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争（裁判所の調停手続きを含む）は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したと見做す。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構（JADA）への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

事務局

日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 408
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

大会特別規則

第1条（チーム監督/代表者会議）

1. **2024年6月13日**（木）20時00分より、事前にリモートでチーム監督/代表者会議を行う。参加チームの監督、代表者は必ず参加すること。
2. 会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付する。
3. **正当な理由無く**無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

第2条（器材）

1. 当連盟HPに掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。（例えば、「公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。トップギア時のペダル1回転あたり前進距離を10.3m以内に制限する。（参考：通常700Cホイール、53×11で10.217m）」など詳細は本規定を確認すること）
2. これら器材に関する条項に違反していることがスタート時に発覚した場合は、スタートは拒否される。
3. また、スタート後及びゴール後に違反していることが発覚した場合は、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となる場合がある。



第3条 (競技)

1. 代車 (バイクチェックを事前に受けること)、代輪の交換は認められる事故の場合に別途コミュニケ発表の指定箇所のピットにおいて可能とするが、基本的に各チーム1名のみでの待機とし、チーム同士の間隔を審判役員の指示した通りにあけること。
2. 本大会においては認められる事故によるニュートラリゼーションの適用はない。

第4条 (スタート位置)

男子は、出走選手のうち、昨年度の**2023全日本学生選手権個人ロードレース大会**における上位10名までの選手に最前列でのスタートを認める。

第5条 (共通器材車)

男・女共に主催者にて共通器材車を用意する。これに積載する代輪は各校にて用意し、スタート地点に持参すること。また、当連盟所有の代輪を若干数は用意するが、ディスクブレーキ用のホイールは用意しない。

第6条 (食料補給)

飲食料の補給は、別途コミュニケ発表の「補給エリア」にてのみ認める。補給許可周回数は別途コミュニケにて告知する。

第7条 (失格・棄権)

1. 原則として、主集団より一定時間遅れた選手及びコミッセルが完走不可能と判断した選手は、失格とし競技より除外する。打ち切り時間は別途コミュニケにて定める。
2. 競技を中止あるいは除外された選手は、速やかにゼッケンを外すか、ユニフォームを裏返してゼッケンを見えなくすること。ゼッケンとプレートは、返却する必要はないが、必ず持ち帰ること。

第8条 (その他)

指定された場所以外での食料の残り・包装等、あらゆる固形物の投げ捨てはコースの内・外、レース中・外を問わず固形物1点につき3,000 円のペナルティを科す。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI 規則 1.1.004, JCF 規則第5条2.(4))
- 2 大会 (競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む) における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF 規則第5条2.(9) 準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしめたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名譽や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穩健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)

以上

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。